

この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

受付印	家事 ☐ 調停 ☐ 審判	申立書 事件名	☐ 婚姻費用分担請求 ☐ 婚姻費用増額請求 ☐ 婚姻費用減額請求
	(この欄に申立て1件あたり収入印紙1,200円分を貼ってください。)		
	(貼った印紙に押印しないでください。)		
収入印紙	円		
予納郵便切手	円		

家庭裁判所 御中	申立人 (又は法定代理人など) の記名押印	印
平成 年 月 日		

添付書類	(審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。)	準口頭
	☐ 戸籍謄本(全部事項証明書) (内縁関係に関する申立ての場合は不要) ☐ 申立人の収入に関する資料(源泉徴収票、給与明細、確定申告書、非課税証明書等の各写し) ☐	

申立人	住所	〒 - (方)
	フリガナ氏名	大正昭和 年 月 日生 (歳)
相手方	住所	〒 - (方)
	フリガナ氏名	大正昭和 年 月 日生 (歳)
対象となる子	住所	☐ 申立人と同居 / ☐ 相手方と同居 ☐ その他 () 平成 年 月 日生 (歳)
	フリガナ氏名	(歳)
	住所	☐ 申立人と同居 / ☐ 相手方と同居 ☐ その他 () 平成 年 月 日生 (歳)
	フリガナ氏名	(歳)
	住所	☐ 申立人と同居 / ☐ 相手方と同居 ☐ その他 () 平成 年 月 日生 (歳)
	フリガナ氏名	(歳)

(注) 太枠の中だけ記入してください。対象となる子は、申立人又は相手方が監護養育している子を記入してください。□の部分は、該当するものにチェックしてください。

この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

※ 申立ての趣旨は、当てはまる番号を○で囲んでください。

□の部分は、該当するものにチェックしてください。

申 立 て の 趣 旨

(☐相手方 / ☐申立人) は、(☐申立人 / ☐相手方) に対し、婚姻期間中の生活費として、次のとおり支払うとの(☐調停 / ☐審判) を求めます。

- ※ 1 毎月(☐ 金_____円 / ☐ 相当額) を支払う。
2 毎月金_____円に増額して支払う。
3 毎月金_____円に減額して支払う。

申 立 て の 理 由

同 居 ・ 別 居 の 時 期

昭和 _____ 年 _____ 月 _____ 日 同居を始めた日… 昭和 _____ 年 _____ 月 _____ 日 別居をした日…
平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

婚 姻 費 用 の 取 決 め に つ い て

1 当事者間の婚姻期間中の生活費に関する取決めの有無

☐あり(取り決めた年月日:平成_____年_____月_____日) ☐なし

2 1で「あり」の場合

(1) 取決めの種類

☐口頭 ☐念書 ☐公正証書

☐調停 ☐審判 ☐和解

→

[_____ 家庭裁判所 (☐支部 / ☐出張所)
平成 _____ 年 (家 _____) 第 _____ 号]

(2) 取決めの内容

(☐相手方 / ☐申立人) は、(☐申立人 / ☐相手方) に対し、平成_____年_____月から _____ まで、毎月 _____ 円を支払う。

婚 姻 費 用 の 支 払 状 況

☐ 現在、毎月 _____ 円が支払われている(支払っている)。

☐ 平成 _____ 年 _____ 月ころまで、毎月 _____ 円が支払われていた(支払っていた)が、その後、(☐減額された(減額した)。 / ☐支払がない(支払っていない)。

☐ 支払はあるが、一定しない。

☐ これまで支払はない。

婚姻費用の分担の増額又は減額を必要とする事情(増額・減額の場合のみ記載してください。)

☐ 申立人の収入が減少した。 ☐ 相手方の収入が増加した。

☐ 申立人が仕事を失った。

☐ 申立人自身・子にかかる費用(☐学費 ☐医療費 ☐その他)が増加した。

☐ その他(_____)